

令和5年度 宮崎県立延岡商業高等学校 学校評価書

教育目標
宮崎県教育基本方針および宮崎県人権教育方針に基づき、個性の伸長に努め、知・徳・体の調和のとれた、主体性・先見性・創造性・実践力のある「未来を切り拓く心豊かでたくましい 宮崎のひとづくり」を目指し、郷土を愛し、広い視野を持ち、地域や社会の発展に主体的に参画するとともに夢や希望を抱き生涯にわたって自己実現を図れる、質実剛健にして堅忍持久・勤労愛好の精神に富む人材を育成する。

経営方針 校訓「質実剛健 堅忍持久 勤労愛好」 スローガン ～「栄光は君に 挑戦せよ！ 延商生」～
 ○めざす学校像「生徒一人ひとりを鍛え、褒めて、育てる学校」
 ○めざす教師像「高い専門性と指導力を備え、使命感と情熱を持って生徒を育む、人間性豊かな教師」
 ○めざす生徒像「人間力と実践力を身に付けた、心豊かでたくましい生徒」
 「地域社会や全ての産業現場でビジネスの視点を持って活躍できる資質を備えた生徒」

重点目標
「集団を大切にす」「生徒一人ひとりを鍛える」「生徒のもつ可能性を発見し、伸張させる」教育活動により、「生きる力」を育むことを基本として

(1)「頭」を鍛え、褒めて、伸ばす(学力の向上と進路の実現)

- ① 生徒の理解度を高める教科指導を推進し、基礎学力の定着を図る。
- ② 経営・経済の不易と流行を学ばせる専門教育の充実を努め、学んだ成果を実感できる資格取得を推進し、達成感・成就感を味わわせる。
- ③ キャリア教育・職業教育を推進し、夢や希望を育て、進路実現に向けた組織的な支援体制により、実現する力を身に付けさせ、生徒一人ひとりの自己実現を図る。
- ④ ICT教育の推進を図る。
- ⑤ 教職員が授業を中心とした質の高い教育活動に専念できる環境づくりに努め、「教育の質の向上」と「生徒の教育の充実」を図る。
- ⑥ 教育環境を整える施設、設備、備品等の充実と就学支援に関する制度の周知、積極的な利用促進を図る。

(2)「心」を鍛え、褒めて、育てる(規範意識の確立と心の教育の充実)

- ① 「時を守り、礼を正し、場を清める」実践指導と道徳教育の充実により、基本的な生活態度の確立を図り、生命を大切にする心や他人を思いやる心、規範意識等の道徳性を身に付けさせる。
- ② 学校行事やホームルーム活動等を通して、集団の中で輝く個性の伸長に努め、自主性・自立心、人間関係構築力を育成し、豊かな人間関係の醸成に努める。
- ③ 読書や体験活動、を通して豊かな心の育成に努める。
- ④ 「教育相談体制」の充実「特別支援教育体制」の充実「通級による指導」体制の構築に努める。そのために必要な関係機関との連携を推進する。

(3)「体」を鍛え、褒めて、伸ばす(健康・安全教育の充実と部活動の活性化)

- ① 生徒の個々の状況に合わせた心身の健康教育や安全管理の充実を図る。
- ② 危機管理、防災対策に組織的に取り組み、施設設備を含めて、学校の安全管理の徹底を図るとともに、生徒の危機回避能力を育成する。
- ③ 部活動や学校行事等を通して、自己の鍛錬と向上心を育み、スクールリーダーを育成する。
- ④ 継続して就業できる社会人の育成を図る。

◆『延商の教育』を達成するための制度の充実『ワンチーム延商』の確立

(1)学校組織マネジメントの(PDCA)の活用
・継続的な検証改善サイクルの実践。

(2)教職員の協働性(同僚性)参画意識の確立『共通理解と組織的取組』
・組織力と参画意識を高める報告・連絡・相談及び校務分掌間の事前の調整・理解の推進。

(3)家庭、地域との連携・協働の推進
・家庭、地域社会への積極的な情報発信と地域と連携・協働した社会貢献活動の推進。

重点目標	評価項目	具体的方策及び評価指標	自己評価	成果及び改善策	学校関係者評価	評価・具体的意見
① 「頭」を鍛え、褒めて、伸ばす ・基礎学力の定着、指導力の向上 ・専門教育の充実による専門基礎力の定着と資格取得の推進	ICT教育の推進	ICT機器とPC室の整備をし、授業力の向上に役立てる。	B	校務用PC、校内ネットワークの構築、ICTの環境整備としてPC室更新を行った。授業内でICT活用に挑戦していただけるように、研修会やICT活用事例を共有した。	B	ICT活用に積極的に取り組んでいると思う。
	基礎学力の定着	生徒の実態に即した効果的指導(個に応じた指導)を行う 「黙学」の時間と自宅学習の定着を図る。	B	国語、数学、英語を中心に10分間の課題に取り組むことができた。一方で課題に取り組まない、学力的な問題から課題に取り組めない生徒もあり、それらの生徒への対応は課題として残る。	B	目標を見失っている生徒には引き続き寄り添ってほしい。
	学習習慣の確立	自宅学習を習慣化させるとともに、内容の充実を図る。 長期休業中における課題一覧表を作成することで、長期休業中の課題を期日内に提出させる。また、課題一覧表を保護者にも示すことで、家庭と学校が連携して生徒の学習指導にあたる体制を作る。	C	日々生徒に課している自宅学習1ページなどの取り組みは、形ばかりのものとなり効果が上がっていない。自宅学習課題の作成や学習指導は各教科が責任を持っておこなうなど、抜本的な改革が必要な時期になっている。	B	将来の目標を持つことで自然と学習の習慣がつく。更に学習の大切さを指導していただきたい。
	授業力向上と授業改善	研究授業や公開授業などを通して授業改善を目指し、ICT機器を導入した授業について研究する。 授業に関する情報や教材等を共有し、授業力向上に役立てる。	B	ICTの活用にという点においては、各教科とも十分に浸透し効果的に活用されている。他教科への参観者数を増やししながら、他教科のICT機器活用方法を共有する必要がある。	B	ICT活用に積極的に取り組んでいると思う。
	専門教育の充実	専門教育の充実を図る。(実践的・体験的な学習活動、資格取得等)	B	2学年コース制授業において、地元企業の協力を得ながら、主体的で学びのある活動を行うことができた。3月には学習成果発表会を行う予定である。 資格取得については、各学年の目標とする検定合格に向けて、全職員の理解と協力のもと指導にあたることができた。自主的に学習するという点については課題が残る。	A	引き続き資格取得に力を入れてください。

	資格取得の推進	資格を活用した進路指導の充実を図る。	B	国公立大学に2名合格した。資格点が加 点され優位に臨めた結果だと考える。	B	資格は一生「芸は身を助ける」で す。将来必ず役立ちます。
	キャリア教育の推進	職業観・勤労観を育む教育と進路 選択のためのガイダンスを充実させ、 進路意識を喚起することで、進路目 標の早期設定を促し、希望進路の達 成を図る。	B	今年度より1年生対象の大学訪問を実施 し、視野を広げる取り組みをおこなった。そ の日の午後は職業理解のガイダンスを実施 した。早い時期にいろんな可能性を考える 機会を提供出来ている。	B	
		地域創生の視点を入れ、地域に貢 献する意欲と態度を育成する。	B	県内就職率81% 宮崎を支える人材とし て頑張っていく生徒育成が出来ていると考 えている。また、3月には延岡市と連携して 大規模な企業ガイダンスを予定している。 延岡を知り、地域貢献を考える態度を育成 中である。	B	県内81%はすごい！是非地域に 貢献する生徒を育ててください。
	進路指導体制の確 立	全職員で取り組む進路指導体制に より、就職・進学ともに 100%の進路 実現を目指す。	B	小論文・面接指導を充実させ、統一した 進路指導ができた。また、今年度から求人 票をデジタル化して家庭で保護者と求人票 を確認することができるようにした。今年度 3年生、就職43名進学53名未定4名。	A	進路98%実現は素晴らしいと思 う。先生方の熱意が感じられる。
② 「心」を鍛え、 褒めて、育て る	服装・容儀指導の徹 底	常時指導の徹底と生徒同士が注意 しあえる関係づくりを通して適切な服 装や容儀に対する意識を高め、自ら 律する心と態度を育てる	B	今年度も校則見直しを行い、11月に生徒 アンケートを実施した。来年度から見直した 内容を生徒心得に反映させる予定であり (別紙)関係機関と連携しながら共通理解 の元進めていきたい。	B	高校生らしい適切な服装と思っ ている。
	生活態度の確立	問題行動を未然に防ぐために、予 防的生徒指導を充実させる。	B	校内喫煙2件・危険物の校内持ち込み1 件・飲酒喫煙1件・暴力1件・立入禁止場 所でのアルバイト1件・立入禁止場所での飲 酒喫煙1件であった。生徒本人の意識が低 いのもあるが、家庭の教育力が低下してい ることも問題としてあげられる。今後の指 導や未然防止対策が課題。	B	生活態度、特に問題行動は学校よ りも家庭での「躰」です。
・規範意識の 確立	マナー教育の徹底	全職員の共通理解の元、礼法指導 を徹底する。人前を意識した行動が できるよう、職員自らが手本となり、 相手や場にふさわしい正しい言葉遣 いや態度を身に付けさせる。	B	礼法指導については、授業での常時指導 を徹底するなど、全職員共通した意識の元 指導を徹底したい。心の教育と規範意識の 向上について粘り強く指導していく必要が ある。	B	桜マーケットでの礼法・礼儀作法 は元気があり、気持ちよかった。
	スクールリー ダーの育成	学校行事や生徒会活動、ホームル ーム活動、部活動を通してスクールリ ーダーの育成に努める。部門委員会 の活性化(原則月1回)。具体的活動 を示しながら、生徒が自ら考え、主 体的に行動できるように促す。	B	部門委員会の活性化を目指し、時間の確 保と質の向上を図るために部門委員会の翌 日に報告会を実施している。今後も生徒の 主体的な取り組みをサポートするための体 制を整えたい。	B	
・心の教育の 充実	豊かな心の育成	集会での無言集合がリーダーを中 心に自ら進んでできる・体制を整えさ せる。	B	各クラスの委員長や生徒会が率先して取 り組める体制が整いつつある。	B	
		朝読書の充実や明るく立ち寄りや すい図書館の雰囲気作り図書便り等 の取り組みを通し読書を推進する。	B	朝読書に静かに移行している。図書室を 利用する生徒も増えている印象である。	B	
学習環境の整備		時間いっぱい清掃に取り組みませ る、施設や用具を大切に使う、トイレ をきれいに使うなどの取組を通して 豊かな心の育成に努める。	B	清掃に関しては概ねできている。多目的 トイレの使い方に問題があったので、改善 できるようにしたい。	B	
		定期考査期間や長期休業中にお ける私物の持ち帰りを実施し、整理 整頓を徹底させる。	A	持ち帰りについては概ね実施できた。日 常的に整理整頓を心がける仕掛け作りが 必要である。	A	
教育相談体制の充 実		チャイム前の着席を呼び掛けること でベル着、ベル開始を励行する。	B	生徒自らベル着調査を実施する動きも見 られた。今後も継続して生徒へ意識付けを おこなっていく。	B	
		HR活動で計画的に構成的グルー プ・エンカウンターを実施し、生徒の 自己理解、他者理解を高め、よりよい 人間関係を築く力を育てる。	B	1学年は1学期に実施。2学年は時間の確 保が難しかった。3学年は毎学期実施し、自 己・他者理解を高め、進路実現と卒業後の 見通しを持つ機会になった。コロナ禍で人 間関係構築の力が弱い生徒が多いため、 全学年が毎学期に1時間の活動を確保でき るようにしたい。	B	
		生徒同士及び生徒と教師の心が通 じ合う人間関係を築きながら教育相 談体制を充実させるとともに関係機 関と連携して特別支援教育体制の充 実を図る。	A	生徒・保護者・職員に寄り添う教育相談 体制を構築できた。各学年や養護教諭、担 任と協力し、生徒の実態把握や情報共有、 保護者との連携を密にできた。外部機関と の計画的な相談・面談を実施し、生徒・保 護者との関わり方や生徒と保護者の困り感 の軽減につなげることができた。	A	

③ 「体」を鍛え、 褒めて、伸ばす ・健康教育・安全 教育の充実 ・部活動等の 活性化	健康・安全教育の推 進	心身の健康教育や安全管理の充 実を図る。	B	保健だよりの発行、救急救命法講習会の 実施など、意識を高めることに取り組めた。	B	
		危険予知能力(問題行動や犯罪、 不審者、交通事故、災害から身を守 る力)の育成に努める。	B	年度当初に実施できたことはよかった。 今後はより実践的な避難訓練・交通安全教 室を計画したい。	B	
	部活動の推進	自己の鍛錬と個性の伸長を図り、 部活動を通した豊かな人間関係づく りに努める。(加入率85%以上を目 指す)	B	1月現在の部活動加入率は80.4%であ った。(4月は84.0%)1年生の退部が多 く、退部の理由としては対人関係のトラブル が多い。	B	引き続き加入率 85%を目指して ください。
	主体的な生徒活動 の 活性化	キャプテン会議、部活動生集会を 定期的実施し、部活動生を核とす る主体的な生徒活動の活性化を図 り、リーダーの育成に取り組む。	B	生徒会も新体制になり、リーダーシップを 発揮するためにも活動の目標や課題を明 確にし、主体的で具体的な取り組みを実現 させ、学校行事の活性化を図りたい。	B	
④ 『延商の教育』 を達成するた めの制度の充 実 ・ワンチーム延 商の確立	学校組織マネジメン トの活用	マネジメントサイクル(PDCA)に基 づく教職員の役割達成度の向上と校 務の改善を図る。	B	全職員に対するフィードバックミーティ ングを実施し、共通理解を図りながら校務改 善を図ることができた。	B	
	教職員の協働性の 確立	「明るく 楽しく 前向きに」を合い 言葉に、教職員の同僚性の確立を目 指し、風通しの良い職場環境づくりを 進める。	B	お互いに声を掛け合ったり、組織的に業 務を遂行したりするなど働きやすい職場環 境となるよう心掛けた。	B	
	保護者との情報共有	月別行事や考査日程、成績配布 などの教務に関する情報を定期的 に発信し、保護者への情報提供およ び情報共有に努める。	B	行事や成績配布など保護者への情報提 供は確実に実施できた。家庭と学校が連携 して教育活動をおこなう土台作りはできた。	B	
	家庭、地域との連 携・協働の推進	家庭、地域社会との連携・協働を 推進する。	B	PTA 理事の方々を中心に各種行事に積 極的に取り組み、楽しい雰囲気の下、充実 した活動を行うことができた。スマホアプリ を駆使し連絡、情報を瞬時に確実に伝達で きた。	A	桜マーケットは近隣住民にも好評 であった。
		中学校への積極的な情報を発信す る。	A	学校説明会をはじめ学校 HP、 Instagram、延商新聞を作成し、積極的に 生徒募集に繋げた。	A	今後も延商のPR・情報発信に努 め、更に質の高い生徒の確保に努 めてください。

A:十分達成(80%以上) B:概ね達成(50~80%) C:検討の余地あり(20~50%) D:不十分(20%以下)